

企業周辺の文化を訪ねる

—— しいなりい ——

千葉県

流山市



水と緑のある暮らし 豊かな自然が息づく住宅文化都市

東京都心の秋葉原駅からつくばエクスプレス快速で約20分。千葉県流山市は「都心から一番近い森のまち」をコンセプトに街づくりを進める緑豊かな住宅都市。市の西側に沿って流れる江戸川や日本土木遺産100選にも選ばれた利根運河沿川には、千葉県らしい原風景が残されており、野鳥や昆虫、多様な植物たちのオアシスにもなっています。



取材・写真協力: 流山市役所産業振興部
流山本町・利根運河ツーリズム推進室

① 利根運河

かつては1日100艇ほど、高瀬船や外輪蒸気船が行き交っていた利根運河。1890(明治23)年に民間資本で開削されました。今は「利根運河エコミュージアム」とも呼ばれる市民憩いの水辺です。



② 諏訪神社

今から1200年ほど前、奈良の都から移り住んだ高市皇子の後裔により、当地の守護神として、信州の諏訪大社から分祀されました。本殿・拝殿・社殿は流山市指定文化財です。



③ 一茶双樹記念館

流山で醸造業を営む秋元三左衛門(俳号双樹)と交友があった小林一茶は、この地を度々来訪。一茶双樹記念館は、市指定史跡「小林一茶寄寓の地」の保全及び文化の振興を目的としています。



④ 近藤勇陣屋跡

「流山に兵火を上げることは町の人々を苦しめることになる」として自首した新選組局長、近藤勇。毎年4月の第二日曜日には「流山新選組まつり・勇忌」が行われます。



⑤ 流鉄流山線

路線延長5.7kmの小規模な旅客専用鉄道です。沿線業者や住民が出資した「町民鉄道」から始まった私鉄で、車両は愛称ごとにカラフルに色分けされ、各駅に停車します。